ナラ枯れかも！！
情報提供にご協力ください

北海道において、令和5年にナラ枯れ被害が初めて確認されました。
「ナラ枯れ」対策は、被害拡大前の初期対応が重要であることから、ナラ類の被害に関する情報提供をお願いします。

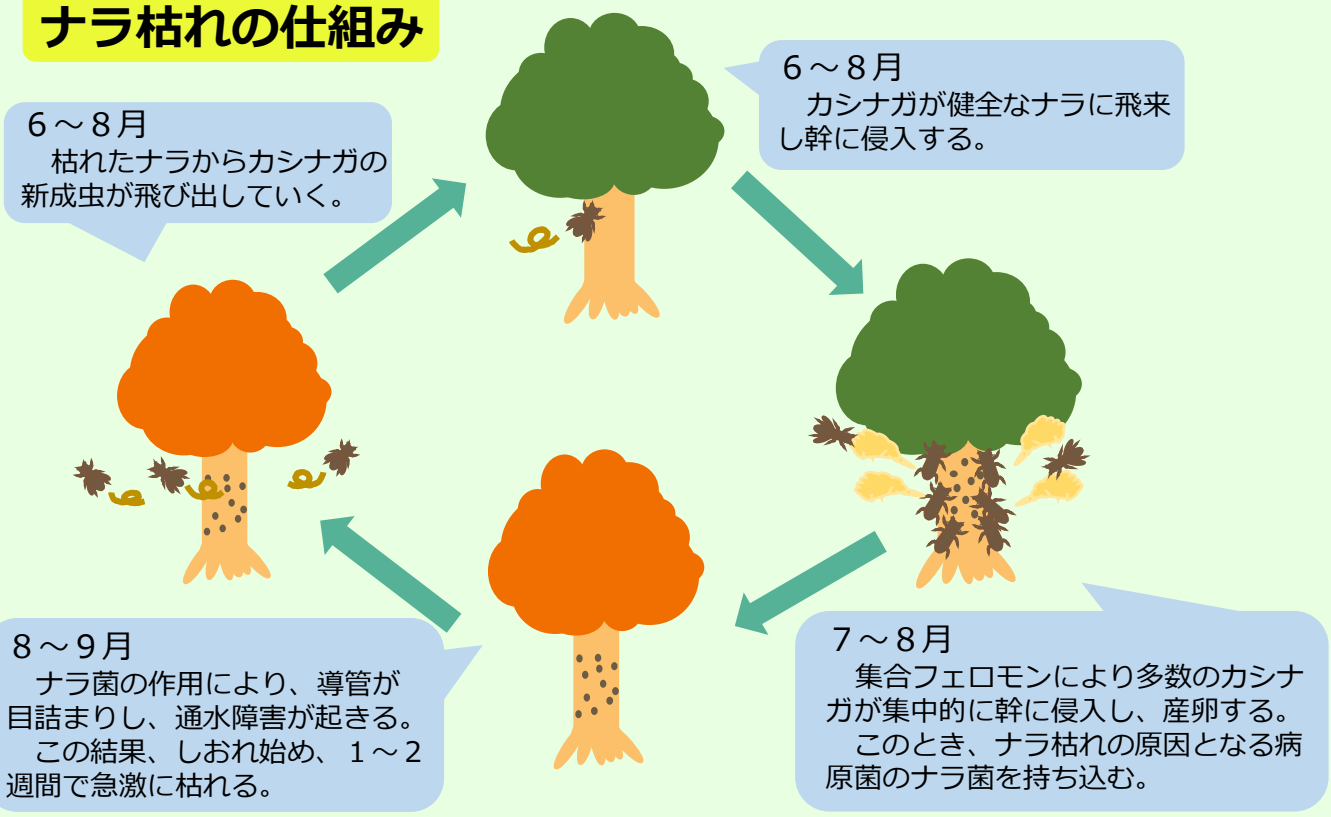
ナラ枯れとは

カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」という）が持ち運ぶ病原菌（以下「ナラ菌」という）により、ミズナラやカシワなどのナラ類が枯死する伝染病です。

▲青森県の被害地（赤く枯れる）

▲カシノナガキクイムシ（左：オス　右：メス）

ナラ枯れの仕組み



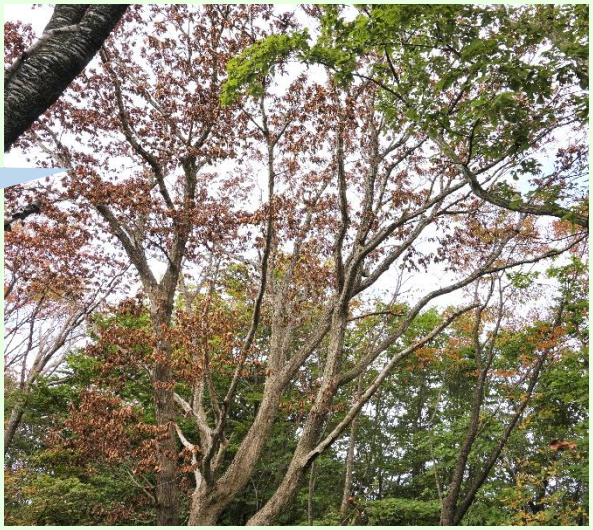
北海道で被害発生の可能性がある樹種

ミズナラ、カシワ、コナラ

※大径木の多い森林で発生することが多く、特にミズナラで被害が激甚となりやすい。

ナラ枯れの見分け方

８～９月に葉が赤褐色に変色し、枯れる（大径木に多い）



幹の根元にフラス（木くずと虫糞が混じった粉状のもの）が堆積している

幹に直径1.5mm～2.0mmの孔が多数ある

ナラ枯れ被害木を放置すると、翌年にそこから大量のカシナガの新成虫が飛び出し、周囲のナラを枯らすおそれがあります。

ナラ枯れを発見したら

ナラ枯れの疑いのある木を見かけたら、下記までご連絡をお願いします。

渡島総合振興局産業振興部林務課　TEL：０１３８－４７－９４７２

渡島総合振興局西部森林室普及課　TEL：０１３９－４２－２０１４

渡島総合振興局東部森林室普及課　TEL：０１３８－８３－７３０２

＜写真提供元：北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場＞

発行：令和５年１０月　北海道水産林務部林務局森林整備課